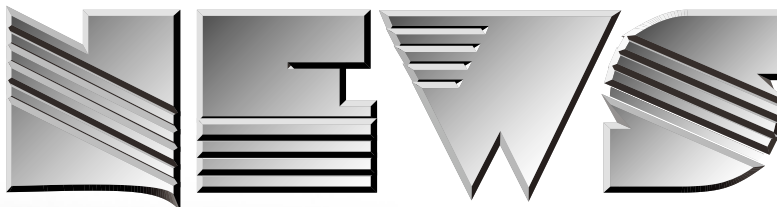




いぬに  
やせこ  
まじけり

JAPAN Neko-Dasuke NETWORK



[ p-1 ]

2010 平成22年3月

Vol. 38

発行 / 著作  
NPO ねこだすけ

〒160-0015  
東京都新宿区大京町5-15-203

www.nekodasuke.net

# 9年めの地域ねこセミナー

## 報告書のご紹介

足掛け10年間。地域ねこ呼びながらの動物擁護活動を振り返って、何の成果もなかったとしたら、どこかに問題が・・・。

年に一度づつ、第9回めを数える新宿地域ねこセミナーが、平成21年末に官民協働で行われました。

果たしてこの10年間はどうかだったのでしょうか？  
セミナー主催事務局、新宿区役所からの報告書の一部をご紹介します。

参加者数 / 36名 (区外13名、ほか23名)。主催者・パネラー・来賓 / 新宿区人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会会長・副会長・新宿区保健所香西衛生課長・東京都福祉保健局環境衛生課田島動物管理係長・区内の事例報告3地域代表者・横浜市神奈川福祉保健センター(獣医師)黒澤泰氏・区役所担当兼主催事務局高木さん石井さん

### 討議内容Q & A ( 一部の抜粋です。 )

Q : 病気の野良猫や終末医療はどうしていますか。

A : 気がついた人が動物病院へ連れて行ったり、エサに薬を混ぜて飲ませています。ボランティアが負担しているのが現状です。

Q : 行政が町会へ地域猫の説明に行ってほしい。

A : 保健所では町会の依頼に基づいて担当者が現場へ行って話しています。町会の依頼のない所へ説明に行くことはしていません。

Q : 町会がエサやり禁止看板を貼る。町会長がなかなか理解しない。

A : エサやりを止めれば、野良猫はゴミあさりをします。糞尿被害は止まりません。そこで、野良猫の適正管理の方法である地域猫対策が有効となります。それは、去勢・不妊手術と糞尿の始末、

そして適切なエサやりが地域猫の基本です。これを説明し、成功例も話します。

Q : 戸塚地区協議会の取組みについて教えてほしい。

A : 新宿区に10ヶ所ある出張所のうち、戸塚特別出張所管内の町会連合会で、環境問題対策の一環として「放置自転車対策」と「野良猫対策」を行っています。「野良猫対策」について新宿区保健所と連携して「地域猫対策」を進めています。

Q : 地域猫の世話をすると管理責任が発生しますか。

A : エサやりイコール飼い主ではない。明らかな飼い主には民法上の責任があるかもしれないが行政は民事不介入が原則。地域合意でスタートすることでトラブルを無くしています。

Q : 動物を物として扱うことをどう思いますか。

A : 動物は命あるものとして、保護され愛されるべきです。

Q : 上手な捕獲方法は？

A : ケージの扉を固定してケージ内で食事するようになってから捕獲しています。場所によってはケージ内にエサを置くだけでどんどん捕獲できる地域もあります。

### ディスカッションのまとめ

現在までの経過から地域猫の仕組みは、地域の環境対策と野良猫対策の方法としての有効性が実証されてきました。

そこで、新宿区の取組みを広めることが今後の課題です。

## セミナーアンケート(抜粋)12月5日(土)開催

黒澤さんの「皆見て見ぬふり」の現状把握が的を得ていた。

パネラーの方々に共通する暖かさ、優しさを感じた。

地域猫の取り組みがここまで進んでいることに驚きました。(2名)

他のセミナーも行きましたが、新宿区が一番明るく有意義でした。(2名)

## パネル展アンケート(抜粋)

11月28日(土)~12月5日(土)まで開催

他地区の在住ですが、このようなとても良い運動を知りませんでした。

近所に野良猫がいて気になっている。一緒にこの活動をやっていききたい。(2名)

パネルの写真のような耳のVマークのことは知りませんでした。(2名)

エサやりのルールについて参考になりました。

野良猫を作らないために責任をもって飼ってもらいたい。

この方法が有効とは思えない。しかし、地域で取り組むなら参加する。

## 主催者から(要約)

雨の降りしきる12月の午後という悪条件のため、参加者は昨年とくらべて20名以上減少しました。けれども、区内参加者は、昨年20名に対して23名と増加しました。

区外参加者については、区外での独自活動が活発化したため参加者が半減したものと思われます。さらに、昨年度までは、NPO法人「ねこだすけ」が参加者動員の核となっていました。平成20年に「人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会」が結成されたことにより連絡協議会メンバーによるセミナー等への自主運営と参加者動員が期待されるに至っています。

以上のような状況の中で、悪天候にもかかわらず区内参加者が増加したことは、新宿区内の地域ねこ活動に関するニーズは引き続き広がっており、地域ねこ活動への関心も高まっていると言えるものです。

次にセミナーの内容です。活動報告した3地域がそれぞれ独自の活動を展開しています。特に中落合三丁目地域では、清掃活動から地域ねこ対策を開始していることが特筆すべき点です。また、質問も地域ねこ活動の中身に踏み込むものが多く、この活動が区民へ定着し始めていることを実感できるものでした。

報告書は右上写真/新宿区保健所管理係 石井章夫氏



この頁の行事はねこだすけニュース号外22号に掲載したものです。

## 小さいいのちをまもるために

## 行事計画

地域猫 地域ねこ ちいきねこ 検索

行事計画の内容をブログにも掲載しています。

**何とかしたい町の猫問題** H21.9月27日、小平地域猫の会代表で、東京都動物愛護推進員の田中さんが、第一回地域猫セミナーを主催。会場は小平市小川西町公民館。(下の写真)

開催運営に立川栄町猫対策委員会が協力。講師とパネル提供などをねこだすけがサポート。



動物の擁護を目指すとき、それぞれの地域性を考えあわせた「人と人との関係づくり」を礎に、小さいいのちをまもるチームワークが成り立ちます。

**なかのNPO地域活動見本市**に、NPO猫と花地域環境ネットワークが今年も参加。区役所1階ロビーで、H21.9月29日~10月1日。(写真左下)



中野区では、地域ねこ対策推進の声の強い中、野良ねこやカラスなどへの餌やりと、環境保全の関係を規制する条例計画が、多くの反対を押し切って進みます。

**鶴巻町フェスティバル**に「早稲田鶴巻猫の会」が地域猫活動展示でH21.10月4日に参加。毎年2回、地元自治会が主催し、フリーマーケットやバンド演奏、PTAの父兄手作り屋台などで賑わいます。(右の写真)



**第二回ねこもセミナー** H21.10月7日、千葉市緑保健福祉センターで、千葉市地域ねこ活動主催、後援ねこだすけ。みんなで一緒に考え、解決しませんか?地域猫活動について。

行政と協働の地域ねこ対策や、要介護の高齢者福祉と飼い猫との関係など、具体的な課題に絞って話し合いました。(右の写真)



## 岡山市では...

H21.10月11日、地域ねこセミナーが開かれました。ねこだすけが講師に招かれ、地域ねこパネルを展示しました。(左



上の写真)

その後早速野良ねこ対策の必要な地区にセミナーの内容を持ち帰り、11月29日に「地域ねこの会」の説明会とパネル展、猫なんでも相談会が開かれました。主催/御野学区地域ねこの会 後援/岡山動物愛護会



# 地域ねこ 行事計画

ねこだすけ 行事 検索

今後の予定などを、ホームページ「行事計画」に掲載しています。



## 第8回猫江にゃんにゃんセミナー

何とかしたいまちの猫問題、皆で考えよう「猫の飼育ガイドライン」。H21.10月18日、猫江市あいとぴあセンターにて開催。講演は、猫江市健康支援課、NPOねこだすけ、猫江地域ねこの会。野良猫の問題でお困りの方との相談会ほか。主催は、猫江市。共催、猫江地域ねこの会。協働、NPOねこだすけ。

「猫江にゃんセミ」も8回目になりました。市へのプレゼンテーションで、猫江地域ねこの会が協働事業の認定を受けた地域ねこ対策が続きます。

地域ねこ対策を「野良ねこの擁護活動」と感じる「ねこ迷惑」さんは多数です。限られた時間の中で、なぜ今ねこ対策が必要なのか？どのようにすすめたら良いのか？ねこ迷惑さんからも苦情がないように、手短かに分かりやすく解説しなければいけません。

「餌をやるなら飼い主だ！」の発想を変えて、飼い主のいない愛護動物の「所有権を求める人」がいないとき、義務を負う人々もみあたらない、などという側にも立ってみます。

「餌だけでは飼い主の義務を強制できない」ことに思い付く時、近隣同士で対立しない野良ねこ対策が考えられます。

なにごと、反対勢力同士が力でねじ伏せようとすると、角も立ちます。

「野良ねこ排除」には、「近隣の対立」という大きな角が目立ちます。命ある「ねこ」には気の毒ですが、出産しながら生態の繰り返しを続けることに歯止めをかけるための、人々の知恵が集まってよいと思うのです。（き）

地域ねこ対策が根付いているからこそ開かれる「猫なんでも苦情相談会」が、

H21年10月24日、新宿区落合第二地域センターで行なわれました。同区人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会の主催です。（右上の写真）

野良ねこ苦情対策が必要と思われる地区を重点に、早いもので5～6回を重ねた相談会には、保健所職員とねこだすけのボランティアがいつも参加します。



野良ねこ迷惑苦情の方や、ねこを守りたいけど一人ぼっちで助けがない訴えなどさまざま、あっという間の時間です。

同区外からご相談に見えた地域ねこ対策に熱心な方から、「役所が苦情相談会には尻込みしてしまう。どうすれば役所と一緒に開催できるか？」などの相談もありました。

ねこだすけのモットーでもある、「今できることを、できる範囲で、決して無理をしない人々」の力が自然に集まって活かされるように努めています。

立川市では...H21年11月14日、女性総合センターアイムで、夜7時からセミナーです。

『（チラシの要約）飼い主のいない猫（野良猫）に関する様々な問題を解決する、地域猫活動を推進するため、市では活動に取り組む栄町猫対策委員会と協力して、セミナーを開催しました。』

講師はNPOねこだすけ代表工藤久美子。当日は猫トラブルに関する相談受付も行います。

飼い主のいない猫に関する問題でお困りの方、地域猫活動の進め方がわからない方、などなどお気軽にご参加ください。問い合わせ・申込は環境対策課まで...などというものでした。（右上のチラシ）



ほぼ9年前に名付けた「にゃんにゃんセミナー」が、ところを移しながら国立市では、官民協働開催3年めです。テーマは「野良猫から地域猫へ・エサやりを禁止するだけで問題がなくなるのか？今一度考えてみませんか？」

H21年11月29日、国立市公民館にて。講師／東京都動物愛護センター多摩支所／NPOねこだすけ／国立地域猫の会、猫のゆりかご・主催／国立市。

セミナーで多くの方々と巡り会い、意見も交わります。地域ねこをすすめるにはどのような方法が最善なのか？今は何を行えばよいのか？道案内に少しでも役立てればなあ～、と思います。（下の写真）

終了後の懇談会ではボランティアのほかに、肩書きを外したお役人、獣医師さんや著述業の方など多彩な顔ぶれもしばしばです。そのような機会のやりとりから、明日のベストプランが生まれることへの期待もふくらみます。



# 人と人との関係づくり 行事計画

行事計画の内容をブログにも掲載しています。

地域猫 地域ねこ ちいきねこ

**長崎の地域猫**について考え行動する会主催の「野良猫対策講演会」で、すみだ地域ねこの会代表庄司さんが講師講演。ねこだすけの地域ねこパネルを展示。H21年10月12日、長崎市立図書館にて。

**第11回世田谷区飼い主のいない猫対策セミナー。**  
H21年11月14日、桜新町区民集会所で、世田谷保健所が主催。

飼い主のいない猫対策を行っている人、行なおうとしている人を対象に、講師はチームSLP代表田矢さんと、NPO猫花ネット星野氏。ねこだすけの地域ねこパネルを展示。

**野良ねこにお困りのみなさん！！**地域ねこセミナーIN桃園地域、第2回猫なんでも相談会&地域ねこ活動講習会。H21年12月23日、中野区桃園地域センターで地域ねこ体験発表、地域ねこの解説、猫なんでも相談会など。講演は新宿区保健所管理係石井氏、NPO猫花ネット代表星野氏、NPOねこだすけ代表工藤ほか。主催はNPO猫と花地域環境ネットワーク、協力NPOねこだすけ。（下の写真）

5年前のH17年4月、同センターで「1st.にゃんにゃんセミナーin Tokyo West」が開かれました。その時も今回と同じで中野区職員の姿はなく、都と他区の職員ほかが講師でした。中野区保健所の地域ねこ対策への取り組みは、なぜか当時のまま進展していないようです。

条例の前段となる法律に基づいて、環境省から告示された「動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針」では、「所有者のいないねこの適正管理の在り方等を検討し、動物の愛護と管理の両立を目指すことのできるガイドラインを作成すること。」を「講ずべき施策」としています。



しかし中野区では、何か特別の理由でもあるのでしょうか？罰則付きで給餌を制限するなどの条例がないことには、役人が地域ねこ対策も何も行えない、として法律にあざむいた策略を強硬する姿勢をくずしません。これからの展開に注目が集まっています。

役所が協働しないのなら、区民だけでも地域ねこ対策を進めよう。そのような思いの強く伝わる今回のセミナーには参加者が多く、椅子が足りなくなりました。（き）

中野区条例関連情報のホームページは...

## 行事カレンダー

2010

終了している場合にはご容赦ください。

2月7日(日) 港区・まちの猫問題懇談会

場所：みなと保健所生活衛生センター

内容：東京都動物愛護推進員による地域猫活動の講演・ディスカッション・情報共有等

「人と猫の共生できるまちづくり」飼い主のいない猫の適正な世話の仕方について知りたい！他の地域で地域猫の活動をしている人と繋がりをもちたい！お問い合わせ／各地区総合支所協働推進課活動推進係／みなと保健所生活衛生相談係

2月13日(土) 地域猫ってなに？

場所：立川市幸学習館 参加費無料

内容：猫のトラブル地域のみんで相談！解決しよう！あなたの？にお答えします。

講師：NPOねこだすけ

共催：羽衣キャッツ対策委員会／ニャンニャン

協力：栄町猫対策委員会

既に行事が終了している際には「ねこだすけニュース号外23号」でご報告を予定しております。

3月13日(土) 猫何でも苦情相談会

場所：新宿区戸塚地域センター

内容：猫の糞尿などで迷惑を受けている方、猫の飼い主の方、猫の保護活動に関心のある方、猫をめぐる近隣トラブルの解決にむけた相談会を開催します。

保健所職員とボランティアの相談員が、個別に対応いたします。連絡先：新宿区保健所衛生課管理係／新宿区人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会

3月20日(土)

地域ねこセミナー

詳細は計画中。

場所：中野区上高田地域センター

主催：NPOねこはなネット

協力：NPOねこだすけ



# 動物愛護法と地域ねこ活動

NPOねこだすけ  
工藤久美子

飼い主のいない猫対策、つまり地域ねこ対策活動を行う上で重要なポイント、

1.活動の整合性 2.動物愛護法の意味合い、の2つを取り上げてみました。

## 1. 活動の整合性

動物愛護法の国の所管環境省は、この法律が国民や全国の愛護動物担当所管へ広く知れ渡ることを目的に、「動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針」を「環境省告示第140号」として平成18年に伝達しました。

その中で、「飼い主のいない猫の愛護と管理の両面を見据えたガイドラインを作ること」としています。

東京都が、平成13年から15年まで実施した「飼い主のいない猫との共生モデルプラン」を現在も引き継ぎ、スケールアップして行っている「飼い主のいない猫との共生プログラム」事業と同じものと言えます。

さらに都と同様に、一部の各区市などでも、国の告示に先駆けてそれぞれ独自のパンフレット、ガイドブック、ガイドラインを作成し、それに従い「飼い主のいない猫対策事業」を進めていました。

環境省が明確な指針とした「告示」や、都のモデルプラン後の認定プログラム、そして各区市などのパンフレット、ガイドライン。

この飼い主のいない猫対策活動がいかに整合性があり、パブリックな活動であるかをうかがい知ることができます。

整合性があり、パブリックな活動であるとすれば、それはまさに公益性の高いものであり、多数の方が有形無形の受益者となる活動でなくてはなりません。

少し分かりにくくなりますが、相反する2つの側面の人間のために作られた法律でもあります。

猫のみならず動物を愛し、愛護の気持ちのある方を守る側面と、一方で猫のみならず動物が苦手で、それによる迷惑被害を受けている方を守る側面と、この両方です。

相反する両方の方々の権利を守り、円滑に社会生活が行われること、そのための動物愛護法であると思っております。

このことを頭の片隅にほんの少しおいていただければ、猫で困っていらっしゃる方のお気持ちを汲み、なんとかトラブルを解決していこう...、という気持ちになるはずです。

猫の苦手な方も同様で、なににおいても心伝心です。活動の整合性を認識し、かつ動物愛護管理法の意味合いを理解した上での活動は、まさに鬼に金棒です。

がんばりましょう。



## 2. 動物愛護法の意味合い

(1)の終わりに書きました公益性が高く、公共に寄与し、多数の方々の利益となる活動の裏付けが動物愛護法です。

第一に、法律というものはすべからく人間のために作られたものだという認識さえあれば、地域ねこ対策の進め方も分かりやすくなります。

動物愛護法が制定された目的、その守るべき人間の権利とは一体なんなのか。

### 新宿区内の猫 手術数・処分数等の推移

平成 年度	区の助成による猫の去勢・不妊手術					区内の東京都動物愛護 相談センター収容数		
	手術計	飼い猫 オス	飼い猫 メス	野良猫 オス	野良猫 メス	成猫	子猫	収容数
13	453	138	315	平成16年度までは、 飼い猫と野良猫の区 別をしていないので、 飼い猫に算入。		37	278	315
14	454	136	318			26	185	211
15	513	173	340			29	200	229
16	578	106	99	109	264	22	157	179
17	864	48	72	215	529	28	60	88
18	1088	50	72	233	733	17	80	97
19	1140	65	78	343	654	27	67	94
20	1112	73	88	268	683	19	37	56
21						資料は、新宿区保健所衛生課より		

# 出 逢 い 触 れ 合 い 巡 り 会 い



ふなばし地域ねこ活動 代表 清水真由美さん

ふなねこ

検索



ねこだすけニュースをご覧の皆さま、初めまして。船橋市で活動している清水です。

ねこだすけさんから記事の依頼を受け、どのような内容にしようかと悩みましたが、活動の輪が広がることを願って、1人でも多くの方が始めの一步を踏み出せるようなヒントになる記事を書こうと思いました。

活動のきっかけは、2006年の4月に我が家の庭に子猫が3匹現れたことから始まります。子猫を不憫に思った母が餌を与え始めました。

しばらくすると、ご近所から「この付近で、野良猫に餌をあげている人が居らしい」という噂が耳に入るようになりました。

「さて困った。どうやら我が家はご近所トラブルの元凶になりかけている！そうだ、動物愛護団体が野良猫を引き取ってくれるかもしれない。どうしたら良いか団体に相談してみよう！」という甘い気持ちで、いくつかの愛護団体に相談メールを出しました。

各団体は「餌をあげている野良猫すべてをご自分で捕獲して避妊去勢なさってください。」と異口同音に返事してきました。

「えー！？誰がお金だすの？捕獲ってどうやるの？そうだ、行政が手術費用を補助しているかもしれない。市役所に電話してみよう！」と、市役所に電話したところ、動物行政の所管は保健所だということで、保健所に電話が回されました。

「野良猫を捕獲したいので、捕まえる道具などありますか？行政は手術費用の助成を行っていますか？」という問いかけに対し「保健所は助成していません。猫は保健所が捕獲することは法律違反ですので、捕獲しませんから捕獲器は存在しません。」という返事をもらいました。

はて...手術費用は自腹だとしても、どうやって捕獲すればいいんだろう...と悩んで居た時に、頭に浮かんだのが、愛犬がお世話になっている動物病院でした。幸い捕獲器を所持している病院だったので、5月中には、すべての猫(4匹)の手術を完了することができました。

その動物病院では、野良猫の手術を自費でコツコツと行っている市民が多く存在していることを知り、行政の不作为に疑問を感じました。

行政に野良猫問題を取り組んでほしい...そう考えていた時、船橋市が市民との協働事業を起こすことを目的とした「行政パートナー制度」を実施すると発表しました。

私は早速、パートナー制度に応募し、その年の6月からは行政パートナーとして地域ねこ活動を行政に提案することができるようになりました。

当初担当の船橋市保健所(現・動物愛護指導センター)の考えは、ご多分に洩れず「野良猫にえさをあげることが問題の元凶」というものでした。

私に(個人的なもの以外の)活動の実績がないことも、問題だと感じ、8月に「ふなばし地域ねこ活動(以下ふなねこ)」という市民グループを立ち上げました。

活動の輪を広げて実績を積み、行政に信頼してもらえる人間になろうと考えたのです。

ねこだすけさんのアドバイス・ご支援を受け、11月には初めての地域ねこ活動セミナー「ふなばしニャンボジウム」を開催したり、ブログやHPを作成し、仲間を募集しました。

ふなねこには、多くの市民から期待が寄せられ、毎日相談に追われました。それらの問題を少しずつ解決していきながら、セミナーを開催したりして啓発活動を行いました。小さな実績を積み上げて、何度も何度も協働課を交えながら保健所と話し合いを進めていくうちに、行政から信頼してもらえるようになったのだと感じています。

2008年からは、船橋市との協働事業として「所有者のいない猫に対する地域における取り組み」を実施し、その成果測定を行っているところです。

地域ねこ活動は、単年度では測定ができない事業だとして、今年度も継続して行っています。

その後、千葉県動物愛護推進員となったことも、活動する上で有効だと感じています。推進員ということで、市民の皆さんに話しをすんなり聞いていただける機会が増えました。行政が認定しているボランティアということで、信頼感が増すのでしょうか。



猫活動素人の私を、いつも支えてくださったねこだすけの皆さまには心から感謝しております。活動を広げることが、私のご恩返しだと思っています。

これから活動を始められる皆さんに、この拙い文章がなんらかのヒントになれば幸いです。



## 地域ねこの現場

H21年11月4日、韓国の教育専門テレビ局・EBSで、「人と猫」が放映されました。猫に親しい歴史や文化を持つ日本で、猫はいつから人と共に暮らすようになったのか、人にとって猫はどんな存在なのか、猫と共存する方法などを多角度から考察する番組です。

日本で行われている「地域ねこの現場」の紹介にお手伝いさせていただきました。

まずは例によって「何故、地域と合意の上での地域ねこののか?」「どうしてねこ対策が必要なのか?」などのお話し合いです。

世界一の歓楽街を自負する歌舞伎町のねこに胸を痛めた方が、「猫何でも苦情相談会」で道筋を見つけれ、少しの



勇気で踏み出したところ、思わぬ展開に進んでいます。(意外な好転については、勇気を出したご本人の体験談など、またの機会に改めますが、今回のTNRはこの現場です。)

先を急ぐチームリーダーさん(左列の下段)とトラップケージの移動。ここぞと決めたところ(右列上段で)ケージのセッティング。

TNRは「捕獲」よりも「保護」の意味合いですから、ケージの覆い布と見張りは鉄則。すぐに布で包んで通

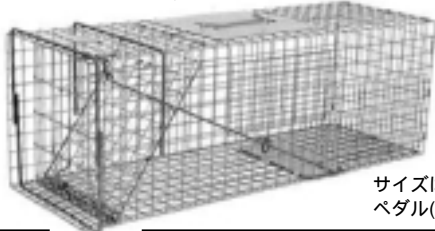
院を急ぎます。(右列中・下段)

以上、TV取材ならではの画像を番組のDVDから紹介させていただきました。

## トラップケージ

動物保護目的の地域ねこ対策に限る、直輸入捕獲用ケージ

動物愛護に理解の有るAPLに協力を依頼し、ねこだすけ宛に規定の書式で申し込まれた方に限り、APLから直接購入いただける仕組みをとっています。APLではねこだすけに申し込みのない直接販売を行いません。貸し出し用トラップなどをAPLがねこだすけに提供しています。ねこだすけからの直接販売も行いません。



お申込みの規定書式をご請求ください。2~3枚のご案内用紙をお届けております。(HP検索 キャットプロテクションケージ)古い1枚だけの用紙を現在使用しておりませんので、お手数ですが最新の用紙をご請求ください。直輸入のため、ケージ整備調整などのメンテナンスをねこだすけが受け持っております。万が一作動不良などの際には、出庫時同封の書式をご利用の上お問い合わせください。

専用のキャリーケース



サイズは約25x25x66cm約2.6kg  
ペダル(踏み板)式一種類のみ

## トラップケージの貸し出し...

地域ねこ対策や動物愛護に限るトラップケージ保護捕獲用かご(左の写真)

貸出無料ですが、宅配送料をご負担ください。貸出期間は、一回につき最長1ヶ月です。規定の貸出申し込み書式がありますので、お問い合わせください。期間を超える際には、一度必ず返却してください。点検整備を行います。よそへの「又貸し」を絶対にしないでください。その都度一度返却し、規定の貸出申込書に記入してください。使う様により危険な狩猟具にもなります。事情により1ヶ月を超えてしまっている際には、トラップ管理番号と使用報告書を至急通知してください。

## 地域ねこの普及啓発パネル

発砲スチロールに加工した、地域ねこパネルを貸し出しています。所定の申し込み書式をご利用ください。パネルの種類はねこだすけニュース33号に掲載。

展示会場やイベント内容の概略をご連絡いただきますと、点数などを選別いたします。1枚はB3サイズです。貸し出し費用は無料ですが、送料を貸出時、返却時共利用者さまのご負担をお願いいたします。地域ねこの直接的な普及啓発などの使用に限らせていただきます。募金やフリーマーケット、譲渡会などが目的の場合はパネル内容と合致しない場合がありますので、ご利用をお控えいただいております。

## ホームページからプリントできます。

ねこだすけニュースバックナンバー ファクトシートの一部  
動物愛護法ポスターチラシ 行政資料の一部 ほか

ねこだすけ ファクトシートもくじ

個人向けの資料としてご利用ください。複製や印刷、大量コピーなどご利用の際にはご連絡ください。

## ご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

地域ねこ対策や、人と動物との適切な関係づくりの広がりを願っています。

ペットとのふれあいなどがもてはやされる今、何が適切でどうすれば不適切なことがらを改められるのか?疑問の広がるアクシデントも多いです。

さまざまな出来事に出合うとき、目には見えにくい改善要請活動も頻繁です。どうぞ支えてください。

ねこだすけでは収益事業を行っていません。運営は皆さまのご支援とボランティアさんに頼っています。

ねこに手を差しのべるとき、フードは欠かせません。地域ねこの現場や、多数頭の保護先ボランティアさんに転送します。トイレ砂や獣医薬品などの消耗品も嬉しいです。移転のため事務所に倉庫スペースがなくなりました。ご支援の品々などもタイムリーにその都度転送しています。未使用の切手は宅配の郵バックに使えますし、書き損じのはがきは切手に交換しています。テレフォンカード、各種金券、商品券、図書などのカード類、収入印紙なども換金が容易です。皆さまへのお知らせや小さな会議、イベントなどの通信連絡や配送に役立つ事務用品の、例えば粘着テープ、セロテープ、コピー用紙、プリント用紙、オフィスのりなどの消耗品は少量でも有り難いです。どうぞよろしくお願いいたします。



いのちにやさしいまちづくり  
人と動物と、すてきな関係...

## ねこだすけへのお誘い

資料を郵送します。  
ご住所をお知らせください。

ねこだすけは小さないのちにやさしいまちづくりを目指します。1年間に100万匹ものねこが不幸に死にます。少しの手助けで不幸なねこをなくせませう。

ボランティアさんがそれぞれの立場で、ねこや動物に今できることをできる範囲で行い、次の世代につながることを願っています。

いつでも、どこでも、ねこや動物に心を動かされている皆さまにご参加をいただいています。

ねこの保護や救済、通院などのご相談にお応えし、人と動物との適切な関係づくりを広げます。社会のさまざまな分野に働きかけ、協力を促します。

ねこを快く思わない方も、また行政などとも一緒に協働し、同じ目的の地域ねこ対策を進めます。

地域ねこ対策や動物保護の活動は、政治や思想に中立で営利を求めません。超党派の議員、大勢の獣医師から賛同をいただいています。

ねこだすけは、ねこや動物を思うボランティアのチームワークで運営

され、地域ねこや動物の情報ネットワークを進めます。動物を愛おむ様々な立場の皆さまに支えられています。

いのちにやさしいまちづくりを目指す活動に賛同していただける皆さま、ぜひ会員になって支えてください。

小さな声を大きく強く!! 地域ねこネットワーク!!

**ご支援、ご賛同をいただきますと...**

ねこだすけニュースをお届けし、動物の擁護や福祉の普及啓発広報事業などをお知らせします。

**入会お申込・お問い合わせは...**

電話・Fax 03-3350-6440

郵送・宅配 〒160-0015 東京都新宿区大京町5-15-203

NPO ねこだすけ <http://www.nekodasuke.net>



会員種別	年会費	摘要
A ジュニアパートナー	1,000円	高校生以下
B パートナー 3	3,000円	個人
C パートナー 5	5,000円	個人
D パートナー 7	7,000円	個人
E サポーター	10,000円以上	個人
F スポンサー	5,000円以上	法人・団体・企業
G ご寄付		年会費を除く随時

NPO制度の構成員(例: 会社などの社員に当たる)を正会員といい、A~Fはいずれも賛助会員です。種別は会費のご負担額をお選びいただけることを目的にしており、次年度より変更できます。

アクション会員やサポーター会員、パトロン制度などの区別はありません。特別の場合を除き活動への参加は任意で自由です。

地域ねこプランが広がっています。  
どうぞ対策費のご寄付をお願いいたします。

ご不要になった未使用の切手・書き損じハガキは郵バックや資料送付に転用します。未使用のテレホンカード・収入印紙は換金も容易です。移転で保管場所が狭くなり、ケージや物資などの宅配出庫回数が更に増えました。配送費用にご支援をお願いいたします。

電話はFax併用です。スタッフシフトが不定期のため、ご相談日を除きお手数ですが、お名前・〒ご住所・お電話番号・なるべくFax番号・お問い合わせ内容を手短にご記入の上ファクシミリ送信か郵送をお願いいたします。折り返しのご連絡には時間のかかる場合がありますが悪しからずご容赦ください。(Eメールでのご相談受付シフトは整っていません。)

**活動** 地域ねこ対策や、ねこの保護救済以外の活動内容

動物愛護の普及や啓発  
動物の法令の普及啓発と実行の推進  
全国の愛護動物行政に対する適切な執行のお願い  
不適切な行政措置や慣行による違法措置などの改廃  
緊急災害時、動物救済要綱などの制定推進

不適切に飼養される動物の改善  
生物多様性に関する動物の保全  
不適切な動物愛護風潮の抑止  
動物擁護の普及  
動物福祉の推進

動物愛護普及啓発イベントの開催  
動物ネットワークの推進  
学習会や相談会  
ねこの譲渡・飼ひ方相談  
チームや支部などの支援ほか



とても狭くて窮屈な事務所です。

**デスクワークボランティアスタッフさんを募っています。**



ファックス印字の欠落や番号違いなどで、折り返しのご連絡がとれない場合が続きましてしまいました。どうぞご容赦ください。

特別な知識や経験はいりません。「できることを、できる範囲で、無理をしないで」をモットーに、ご参加をお待ちしています。ファックスで「デスクワーク希望」としてご連絡ください。折り返させていただきます。

ねこや動物の擁護を行いながら、皆さまに思いを伝える裏方作業も盛り沢山です。文書類の整理や通信連絡、ご相談への応対などさまざまな役割分担が毎日あります。ちよつとした会話の中に、動物愛護のヒントが隠されていることも経験します。デスクワークを担いながら、地域ねこチームリーダーも一人立ちして行きます。